

おたり



議会だより

143

2026 | J u l y

Photo: 柴田友造「藤島棚田の田植え」



みどころ

『5月臨時会・6月定例会』

『各議員の抱負』

『議会活動報告』『わたしのひとこと』



発行：小谷村議会 編集：議会広報委員会
〒399-9494 長野県北安曇郡小谷村 TEL 0261-82-2001 FAX 0261-82-2232
印刷：株式会社ブラルト



議長就任挨拶

議会議長 宮澤 正廣



この度、議会議員一般選挙に当選をし初議会において議長に就任いたしました。元より浅学非才の身ではありますが、小谷村のためにまた未来のことも達のために精進してゆく所存であります。さて議会においては、今回定数割れで今後の課題として、しっかりと受け止めながら、行政の事業実施、事務処理等が公正かつ効率的に執行されているかチェックする重要な機関と受けとめています。「安全安心で住みよい村」のために努力をしてまいります。議会においては、議員の定数、報酬については

再度検討会等を開き議会活動に支障がないように議論をしてゆく所存です。この問題については、村民の皆様方のご意見をお聞きしながら進め反映をさせていきたいと考えます。合わせて議員の資質の改善をしてゆくことを考えております。十人十色とはいいますが、襟を正し議員としての向上を目ざしてゆかなければなりません。本年の村議会議員の選挙は定数10名に対して、9名と1名欠員で議会運営が始まりました。来年4月に行われる村長選挙に合わせて再選挙が実施されます。村議会の活動に皆様のご指導とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

議会事務局紹介

議会事務局長

矢口浩幸

議会事務局書記

(兼務、総務課長補佐・庶務係長)

千國善之

会計年度任用職員

室谷早苗

議会事務局3名体制にて議員活動をサポートし、議会の円滑な運営と情報発信の充実に微力ながら努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

承認・議決結果

◇ 5月臨時会 承認・議決結果

議案番号	件名	議決等年月日	議決の結果
報第3号	損害賠償の和解並びに額を定めることの専決処分報告	令和8年5月8日	承認
報第4号	売買契約締結（ロータリ除雪車220kW級1台の購入）の専決処分報告	令和8年5月8日	承認
議案第25号	令和8年度小谷村一般会計補正予算（第1号）	令和8年5月8日	原案可決
議案第26号	小谷村監査委員の選任について	令和8年5月8日	原案可決
議案第27号	小谷村監査委員の選任について	令和8年5月8日	原案可決

◇ 6月定例会 承認・議決結果

議案番号	件名	議決等年月日	議決の結果
報第5号	令和7年度小谷村一般会計補正予算（第12号）の専決処分報告	令和8年6月3日	承認
報第6号	令和7年度小谷村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）の専決処分報告	令和8年6月3日	承認
報第7号	令和7年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第3号）の専決処分報告	令和8年6月3日	承認
報第8号	令和7年度小谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）の専決処分報告	令和8年6月3日	承認
報第9号	令和7年度小谷村一般会計繰越明許費繰越計算報告	令和8年6月3日	承認
報第10号	令和7年度小谷村簡易水道事業特別会計予算繰越計算書の報告について	令和8年6月3日	承認
報第11号	出資法人の経営状況報告（株式会社道の駅おたり）	令和8年6月3日	承認
報第12号	出資法人の経営状況報告（株式会社おたり振興公社）	令和8年6月3日	承認
報第13号	令和7年度小谷村教育委員会事務事業の点検及び評価報告	令和8年6月3日	承認

議案番号	件名	議決等年月日	議決の結果
議案第28号	小谷村税条例の一部を改正する条例	令和8年6月12日	原案可決
議案第29号	小谷村宿泊税交付金基金条例の制定について	令和8年6月12日	原案可決
議案第30号	令和8年度小谷村一般会計補正予算（第2号）	令和8年6月12日	原案可決
議案第31号	令和8年度小谷村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	令和8年6月12日	原案可決
議案第32号	令和8年度小谷村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第1号）	令和8年6月12日	原案可決
議案第33号	令和8年度小谷村下水道事業特別会計補正予算（第1号）	令和8年6月12日	原案可決
議案第34号	小谷村固定資産評価審査委員会委員の選任について	令和8年6月3日	原案可決
議案第35号	令和8年度小谷村一般会計補正予算（第3号）	令和8年6月12日	原案可決
議案第36号	教育委員の選任について	令和8年6月12日	原案可決
請第2号	「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める陳情書	令和8年6月12日	採 択
請第3号	社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める国への意見書提出を求める陳情書	令和8年6月12日	採 択
請第4号	上下水道事業の老朽化対策・耐震化と経営基盤強化に向けた支援を求める意見書提出を求める陳情書	令和8年6月12日	採 択
発議第1号	「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書（案）について	令和8年6月12日	原案可決
発議第2号	社会福祉法等の一部を改正する法律案の慎重な審議を求める国への意見書提出を求める意見書（案）について	令和8年6月12日	原案可決
発議第3号	上下水道事業の老朽化対策・耐震化と経営基盤強化に向けた支援を求める意見書提出を求める意見書（案）	令和8年6月12日	原案可決





文化財や地域資源を活かした村づくりに ついて

閭文化庁の文化財保存活用地域計画の必要を感じられないのであればハードルを下げ、それに替わる村独自の取り組みはできないのか。

閭教育長 村独自の計画として、計画的に取り組んでいくことが現実的であり、文化財の保存・活用が一步でも前進するよう取り組む。

閭名所・旧跡や文化財に指定されていないでも、英語表記や二次元コードが入った説明板や探訪マップの制作ができないか。

閭教育課長 当時の人々の営みを郷土史として学ぶことができる。どのような情報提供が効果的か検討する。

閭県の無形民俗文化財で歴史的重要な「式年薙鎌打ち神事」は氏子の減少や高齢化により氏子だけでは支え

ることが難しくなってきた。用具の維持、修理、新調、伝承者養成、普及啓発、会場設営費などに対し、補助金が新設できないか。

閭教育課長 無形民俗文化財は、地域の貴重な文化遺産であり、その保存・伝承は重要な課題と捉えている。他自治体を参考に検討する。

閭登録有形文化財の補助制度の支援について、何らかの進展があるのか。

閭教育課長 村内全ての登録施設が対象となるような制度設計に向けて検討する。



北小谷戸土で行われる式年薙鎌打ち神事



問「熊対策、果樹伐採事業の対象条件は」 答「柿・栗・くるみの木等」

若者や女性に選ばれる村づくり事業について

閭8年度主要事業として事業費1,500万円を計上され、アパレル企業であるユナイテッドアローズとの連携が示されている。そこで本事業の目的は。

閭村長 藁細工、ぼろ織りなどの工芸品・特産品について、少量でも高付加価値で稼げる産業へ転換し、村内消費と継続購入を促し、作り手育成事業に取り組み、後継者不足の課題を解決することを目的とする。

閭事業費1,500万円の内訳は。

閭村長 ユナイテッドアローズ社への工芸品等プロデュース委託料1,200万円、村内での工芸品・特産品のイベント企画費200万円、高い技術を持つ講師を招く経費100万円である。

熊対策について

閭本年事業として事業費400万円を計上した果樹伐採事業が示されている。

そこで果樹伐採事業の対象地区・対象条件は。

閭村長 対象地区は村全体を想定し、条件として果樹等の成木、具体的には柿・栗・くるみ等を想定している。

閭伐採費用の補助内容は

閭村長 地区全体への上限額を決めて補助を検討している。

閭伐採後の処理方法は

閭村長 基本的に所有者、若しくは地区で対応をしてもらう。

閭果樹伐採からの効果は

閭村長 当該放任果樹に誘引されて集落に近づいていた個体はなくなる。

ふるさと応援寄付金事業について

閭今冬返礼品開発事業「雪室を活用した熟成テスト」の結果と評価は。

閭村長 現在試験中である。



和牛肉等熟成テスト



よしざわ まなぶ
吉澤 学 議員

動画はこちらから ▼



中学校給食費無償化について

中学校給食費 無償化について

岡小学校は既に実施されているが、国に先掛けて中学校も国と同様の基準での実施が必要とされるが、考えを問う。

岡教育長 中学校の給食費は年間350万円で、県、県の同等基準で村が負担をする、約300万円になる。差額の50万円を保護者負担にするのか、完全に無償化するのか、財源確保を含めて検討していきたい。改めて、給食費無償化へのご賛同をいただきたい。

JR大糸線南小谷～ 糸魚川間について

岡JR西日本との協議をして、一定の方向性を出すと考えているが、考えを問う。

岡村長 今年4月28日に大糸線（糸魚川～南小谷間）沿線地域公共交通検討会議が開催された。この会



は新潟長野両県と、糸魚川市、小谷村、JR西日本をメンバーとし、中立的な立場から流通経済大学の板谷先生を会長として構成されており、大町市、白馬村、JR東日本がオブザーバーとして参加している。今後は会議体として住民への意見募集なども行いながら、沿線地域に望ましい交通形態を探っていく。その中で方向性が決まってくるものと思う。



よこさわ たくみ
横澤 匠 議員

動画はこちらから ▼



訪日外国人観光客増加による迷惑行為から地域住民の安心・安全な暮らしを守る早急な対策を。

インバウンド客増加 に伴う迷惑行為対策 について

岡村として住民生活環境への影響を認識しているのか。

岡村長 迷惑駐車や夜間の騒音など、外国人が多いことによる迷惑行為、混雑や値段の高騰などが影響していると考えている。

岡村として苦情等の実態把握はしているか。

岡観光農林課長 実態把握はしていない状況。今後は必要だと認識している。

岡迷惑行為対策として案内表示や多言語看板設置等の取り組み状況は。

岡村長 今年度予算で50万円の計上をしている。設置場所や内容等の協議を実施したいと考えている。

岡インバウンド客・外国人スタッフ向けのマナー啓発について、ルール整備の実施状況は。

岡村長 まずは啓発のためのポスター等による対応を

実施する。マナールール等の整備については、周知徹底を図り今後検討すべき事項と捉えている。

住民生活との 調和について

岡観光振興施策を進める上で、地域住民の意見を反映させる手法は。

岡村長 観光未来づくり協議会の中で検討をしていく。



インバウンド客で賑わう柵池高原



よしおか ひさと
吉岡 久人 議員

議会選挙、1名欠の無投票で9名当選。 スムーズな受付対策は

岡田が9番目の受付。済ませたのが10時40分。スムーズな対策は。

岡田 総務課職員が選挙管理委員会より書記を任命されているので答える。8時30分までに到着された方はくじ引きによる書類受付順の決定を従来から実施。令和2年以降、選挙に係る公費負担の審査が増え、時間を要す。一般的に事前審査を済ませた立候補届の受理に要する時間は15分から30分と言われている。今回、平均すると一人あたり15分程度。特段多く時間がなかったと捉えていない。

岡田スター掲示板（54か所）は人口減少で減らせないか。

岡田 総務課長 施行令で72か所を県選挙管理委員会と協議して18箇所減らし現在54か所である。人口減少もあるので県と協議をしたい。



ポスターから分かること。

掲示責任者。印刷業者は村内3、大町5、長野1

岡田スター掲示板の位置の表示は以前、個別毎の記載だった。また、「宅」や「集会所」だけではなく、道路に面していない所は「集会所南壁」と明示できないか。迷った候補があったようである。そして掲示板設置は背の低い人でも上段に貼れるようにもう少し下に設置できないか。

岡田 総務課長 記載内容を検討する。掲示板設置の上下の位置は雨や風の影響を考慮して設置している。



そねはらけいこ
曾根原恵子 議員

くらしと営業守る緊急対策は

住宅リフォーム拡充を

岡田 補助額の増額など、改善策で制度推進を。

岡田 総務課長 毎年、開始と同時に多くの申請があり、補助額の数倍以上の工事需要を生む経済効果のある事業。増額については今後検討したい。

店舗・営業に制度追加を

岡田 観光地の環境改善・町並みづくりを。若手育成や廃業防止につながる。

岡田 観光農林課長 営業事業者向けの補助事業については情報収集に努めたい。

農業支援は地域づくり

岡田 「農業政策」は「地域政策」の視点で、一体化した取り組みが必要。

岡田 総務課長 農家人口が減少していく中、少人数で管理、効率的な経営ができる体制づくりが必要。

岡田 後継者対策を望む意見が多い。対策は。

岡田 総務課長 地域一帯で、農地の維持管理や今後の方向性を考えていただきたい。

村民要望の実現を

岡田 学校給食完全無償化はどうなる？

岡田 総務課長 4月、小学校は国の交付金で無償化を実施。中学校は、現在半額支援だが、今後財源確保のうえ、無償化を提案したい。

岡田 障がい者医療費、まだ「窓口一時支払い」か？

外出自体に負担がある方は、申請手続き・経済的負担が「診療抑制」につながる。

岡田 総務課長 県や、県下自治体の動向を見て慎重に検討する。

岡田 イラン攻撃中止、憲法守り戦争止めるには？

岡田 総務課長 「戦争終結」の国民の意思は発信されている。一日も早い終結を切に願う。



“各議員の抱負” 課題に挑み、人を育む、次世代の村づくり

過疎高齢化や財政難、交通確保の壁に挑みつづ、インバウンド誘致や人育む村づくりを推進。山積する地域課題を乗り越え、持続可能な未来を切り拓く今年度の決意と抱負を語ります。

2期目の抱負

よこさわ たくみ
横澤 匠 議員

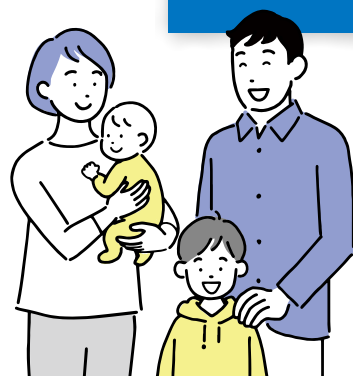
小谷村議会議員として2期目を迎えるにあたり、若者が将来に希望を持って暮らし続けられる環境づくりを進め、定住促進に取り組めます。また、インバウンド客の需要増加に伴い、豊かな自然や文化を生かした観光振興により地域経済の活性化を図るとともに、外国人住民との相互理解を深め、誰もが安心して暮らせる共生社会を目指します。住民の声をしっかりと聞き、村政に届け、「住んでよし・訪れてよし」の活力

ある小谷村の実現に尽力してまいります。

村民との対話を大切に

たはらふみこ
田原富美子 議員

小谷村はこの地区も山坂にあり、民家も点在している。ここで安心して暮らしていくには、ドアツードアの交通手段の確保、医療や介護の不安を少しでもなくすことが、住み慣れた家で生活続けるためにも重要となる。高齢者宅での、雪の片付け、家の周りの草刈りなど、村内で助け合いサポートのできる体制づくりが必要である。



移住定住の方が増えたことで、子どもの数も増え、とても嬉しく思う。保育園や共同調理場での地産地消で安心安全な食材の確保を充実させ、また村の直売所への出荷にも繋がっていききたい。

これからもみなさんとの対話を大切にしていきます。気軽に声をかけてください。

ともに創る小谷の未来

しばたゆうぞう
柴田友造 議員

「ともに創る小谷の未来」を掲げ、『多様なニーズに対応した、豊かな住環境の向上の実現』『稼ぐ仕組

みにより、いつまでも住み続ける、持続可能な暮らしを『福祉の充実、生活、安全安心の暮らしづくり』『教育と文化の力で、人を育み、未来を築く取組み』地域の皆さんからの意見や要望をお聞きし、村民の生活の色々な問題など、今後の村政に反映していきます。

2期目の4年間の取り組みについて

しみずひでお
清水秀雄 議員

ふるさと応援基金収入の確保が厳しい状況が続いています。ふるさと納税は当初30億円の収入があり小谷村の財源を潤してきましたがこの四年平均は、1億5千万円で推移しております。地方交付税も18億5500万円の収入予想ですが、小谷村の人口減少とともに交付税が減算される可能性があります。企画財政では少ない予算を使い外貨を稼ぐ土台作りを昨

年から始めています。多くの外貨を稼げられるよう微力ではありますが力を入れた取り組みをしたいと思います。

二点目として森林環境贈与税を有効的に利用し森林整備（緩衝帯）事業の推進です。里山作りを行う事で野生動物との生活圏を分ける取り組みを行いたいと思います。

小谷村議会議員としての4年間の取り組み

ふかさわひでき
深澤英喜 議員

1、高齢者に寄り添う村政を目指します。

- ・子育て支援の充実とともに、村を支えてくれた高齢者の素朴な要望を丁寧にくみ上げ、施策に反映させます。

2、実行力ある村政へ

- ・計画と実施の差を検証し改善策の提案をします。

・地域からの要望に迅速かつ的確に対応し、事業の早期実現を図ります。

3、議会の質を高めます。

・議会議員としての在り方を見直し、公平な判断とチェック機能を強化し、信頼される議会をつくりまします。

抱負

よしおかひと
吉岡久人 議員

昨年は平成7年7月11日の災害「7・11豪雨災害」から30年。今年の12月6日は蒲原沢土石流災害から30年の年。その当時の村の人口は4,307人。今年5月末は2,490人と2,000人近く減少している。特に北部ほど顕著で北小谷は、急激に人口減少がおきている。そして各集落のコミュニティ維持も困難な集落が目立ってきた。

災害時に活躍する消防団は、当時、北小谷には南部と北部の2個分団だった

が、現在は1個分団体制。

特に豪雨災害時は南部は姫川を挟んで東西に分かれて活動した方が良かったろう。

また、団員も村外からの移住者も多いので、伝承も必要と思われる。また、気象庁により今年5月末から避難も災害ごとに明確化されより分かりやすくなった。

選挙公約の実現

よしざわ まなぶ
吉澤 学 議員

4年間、次の事項について取り組んでまいります。

- 1、物価高騰対策・子育て支援・中学校の給食費無償化
- 2、JR大糸線南小谷～糸魚川間の鉄道の赤字問題対策
- 3、東山観光の実現・おたりつぐらゝ伊折間の道路完成に伴う対策と周辺整備
- 4、特産品・小谷在来種赤にんにくの生産及び黒にんにく商品拡販

みなさんと力を合わせて

そねはらけいこ
曽根原恵子 議員

4年に一度、ご協力いただいている「村民アンケート」にお寄せいただいた声を踏まえ、政策を作り、市政に届けます。

くらしのお困りごとや、物価対策、医療・介護の充実、社会保険の負担軽減など、願い実現のために全力を尽くします。

今年度からは、ついに学校給食の完全無償化が実現しました。今後も、「子育てを支える市政」に向け、また「憲法守り平和を作る」ことを、みなさんと力を合わせて一歩一歩広げていきたいと思います。



4年間の議員としての仕事について

みやざわまさひろ
宮澤正廣 議員

まずは、小谷村住民の付託に答えるべく仕事に努める所存であります。

私は4年間の間に議会改革、議員報酬と議員定数に

ついて課題を検討していきます。今回の小谷村議会議員一般選挙において、定数十人に対し、一減となつてしまいました。議員のなり手不足、報酬等に合せて議員の資質向上とともに改善し私たち議員は襟を正し行政とともに、活動をしていかなくてもなりません。



議会活動報告

4/15 安全祈願祭



白馬村において「白馬村浄化センターし尿等下水投入施設建設工事」の安全祈願祭が執り行われました。式典には、小谷村・白馬村をはじめとする関係機関の代表者が出席し、工事の無事故と円滑な進捗を祈願しました。

令和10年3月竣工予定の本施設は、地域の生活環境の保全とし尿処理機能の向上を図るために整備が進められているもの

です。小谷村議会も参列し、広域的なし尿処理事業の着実な推進に向けて連携を深める機会となりました。

今後も、地域の安心・安全な生活基盤の整備に向け、両村が協力して取り組んでまいります。

5/12 バルサnty氏

歓迎会に出席

小谷村とNZマールボ



ローの友好交流を長年支えたバルサnty氏が来村されました。サンティンおたりで開催された歓迎会には宮澤議長と横澤副議長が出席し、議会を代表してバルサnty氏の功績を讃えるとともに感謝の意を伝えました。

今回の訪問を機会に、小谷村とマールボローの友好関係がさらに深まり、依頼へと続く交流の一步となることが期待されています。

5/26 議長・副議長

研修会に出席

正副議長が東京で開催された「令和8年度町村議会議長・副議長研修会」に出席しました。この研修は、全国の町村議会の議長・副議長が一堂に会し、議会運営の充実や地域課題への取り組みについて学びあう場として毎年開催されています。

今回の研修で得た学びを活かし、今後も小谷村の未来づくりに向けて、より良

い議会運営に努めてまいります。



5/27 衆議院議員を

表敬訪問

正副議長が東京都内の衆議院議員事務所を表敬訪問し、村の現状や課題について意見交換しました。

当日は、終始なごやかな雰囲気の中で懇談が進み、村の交通インフラ、インバウンド観光、豪雪地帯特有の課題、将来に向けた地域づくりなど、国との連携が欠かせない分野について、引き続き支援をお願いしました。



6/9 小谷中学校の生徒が議会を訪ね

生徒が議会を訪ね

小谷中学校の生徒5名が地域交流学习の一環として小谷村議会を訪れ、議場の見学および議員との懇談・質疑を行いました。

短い時間ではありましたが、将来の小谷村を担う世代が、村政・地方議会に触れ、地域の課題や可能性について考える貴重な機会となることを期待します。議会としても、生徒との交流は大きな刺激となり、今後は



に控えた6月11日（木）、関係者を招いた試食会が開催され正副議長も出席しました。試食会では、ざるそば・海鮮・コーヒー・菊川茶などが振舞われ、参加者は料理に舌鼓を打ちました。地域住民はもちろんのこと、観光客にも小谷村の魅力を伝える新たなスポットとして盛り上がっていくことを議会も期待しています。

の活動に生かしていきたいと考えています。なお、生徒たちは9月3日の中学生議会（一般質問）の実施に向け、引き続き事前学習に取り組んでいきますので、小谷村議会も協力・支援してまいります。

6/11 小谷村査掛

古民家施設「やまさと食堂」

試食会

指定管理の小谷村査掛古民家施設が、6月15日（月）に「やまさと食堂」として開店しました。開店を目前



6/20 大北地区

障がい者運動会

6月20日（土）、大町市において「大北地区障がい者運動会」が開催され、小谷村議



会からは宮澤議長が出席しました。

当運動会は、障がいのある方々の交流促進と健康づくりを目的に毎年開催されており、小谷村からも支援者を含め多くの参加がありました。今後も、誰もが住みやすい地域づくりに向けて取り組んでまいります。

6/25 県議会の

一般質問を視察

小谷村議会は議員としての資質向上および議会運営への理解を深めることを目的に、長野県議会6月定

例会の一般質問を視察しました。

当日は、県政の重要課題に対する議員の質疑や、執行部との活発な議論を傍聴し、広域行政における政策形成の進め方や、質問の組み立て方などを学びました。

小谷村議会では、村民の皆さまにより開かれた議会をめざし、議員の研修や情報収集に積極的に取り組んでいます。今回の視察で得た知見を、今後の村政発展にしっかりと反映してまいります。



6/26 中学生海外派遣

事業報告会

令和7年度中学生海外派遣事業報告会が行われ、議会も出席しました。今回は3名の中学生が、3月20日から25日までニューヨークを訪問し、ホームステイや交流・観光などを通じて国際理解を深めました。

報告会では、参加生徒が現地での学びや体験を堂々と発表し、異文化に触れることで得た気づきや成長を共有しました。

議会としても、若い世代が海外で視野を広げる貴重な機会を今後も応援してまいります。



6/27 小谷村消防団

ポンプ操法大会等

小谷村消防団ポンプ操法大会等が開催され、議会からは議長及び消防委員を兼務する副議長・総務委員長が出席しました。

大会では、各分団が日頃の訓練の成果を発揮し、ポンプ操法・喇叭吹奏・放水競技を披露しました。団員の皆さんの真剣な姿勢から、地域の安心・安全を守る強い使命感が伝わってきました。

議会としても、活動服の導入など消防団活動の充実と地域防災力の向上に向け、引き続き支援と協力を進めてまいります。



わたしの
ひとこと

恩返しとこれから

小谷村を

挑戦者の村へ

岡田真樹さん（里見）

移住から10年。27歳で地

域おこし協力隊として小谷村に来て以来、右も左もわからない私を支えてくださった皆様に深く感謝しています。現在は「株式会社おたりフードサービス」を経営し、寮の食事提供やホテル・スキー場へのお弁当提供など、地域の食を支えています。



従業員は30名近くになり、繁忙期には毎日1000食以上を提供するまでに成長しました。

この10年、苦難のたびに地域の方々に支えられた経験から、村へお願いがあります。それは「小谷村から挑戦する人を力強く応援してほしい」ということです。

小谷村には、素晴らしい風景や人柄だけでなく、歴史の中で培われた成功と失敗の「経験や知識」という宝があります。

先人の知見をアーカイブし、その基盤を活かして挑戦できる環境を整えることが、未来を切り拓く鍵となります。

「車輪の再発明」に時間を費やすのではなく、次代を担う人材や事業への支援こそが、小谷村の新たな強みになると確信しています。

編集後記

令和7年12月の議会だよりで「議員定数及び報酬」は『本年4月の選挙は定数10のまま、報酬も慎重に検討』となり、迎えた4月26日の議会議員一般選挙は、21日の告示に9名しか立候補せず、無投票当選となりました。そして、新しい顔ぶれがない議会となりました。1名の再選挙は来年執行の村長選挙時に行われます。しかし、26日を過ぎるまで各自事故等起こさないよう気を引き締めたようです。

小谷村は2名（定数10÷6＝1.6）欠の8名の場合は50日以内に2名の選挙実施し民意を反映させなければなりません。

地方議会で定数割れが起きる背景は報酬の低さ、なり手不足、負担の増大（農業や自営業などと議員活動の両立が難しい）といわれています。

（広報委員長 吉岡久人）